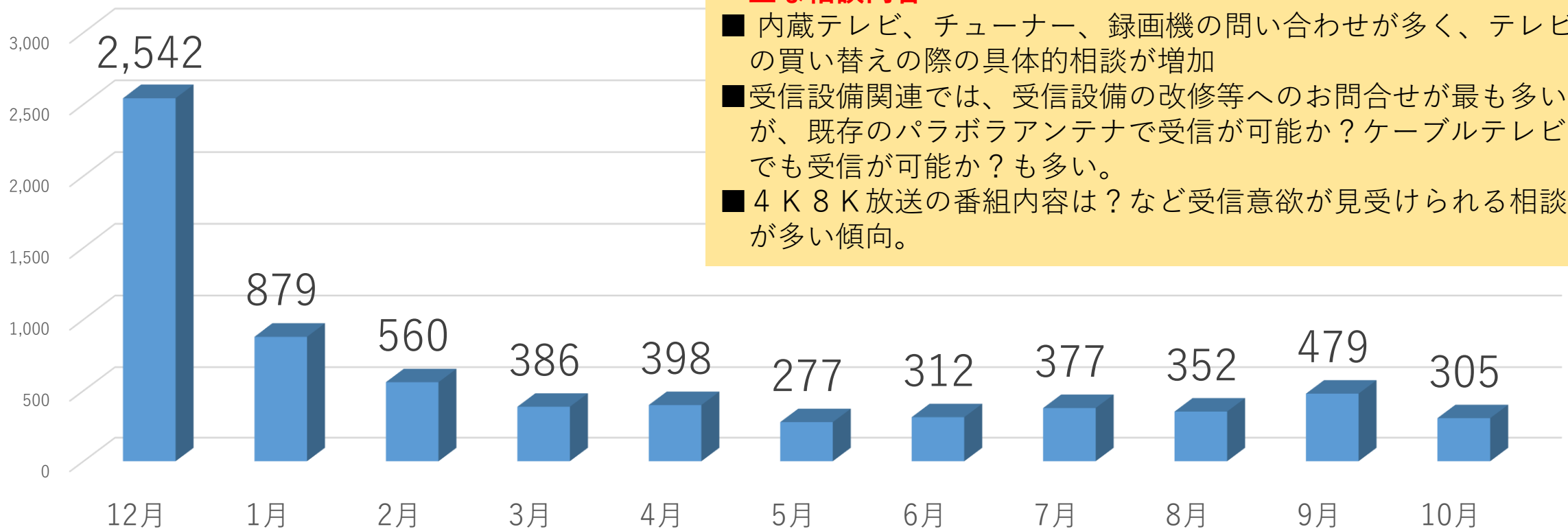


新4K8K衛星放送コールセンター相談状況

①相談件数（入電数）



<相談件数について>

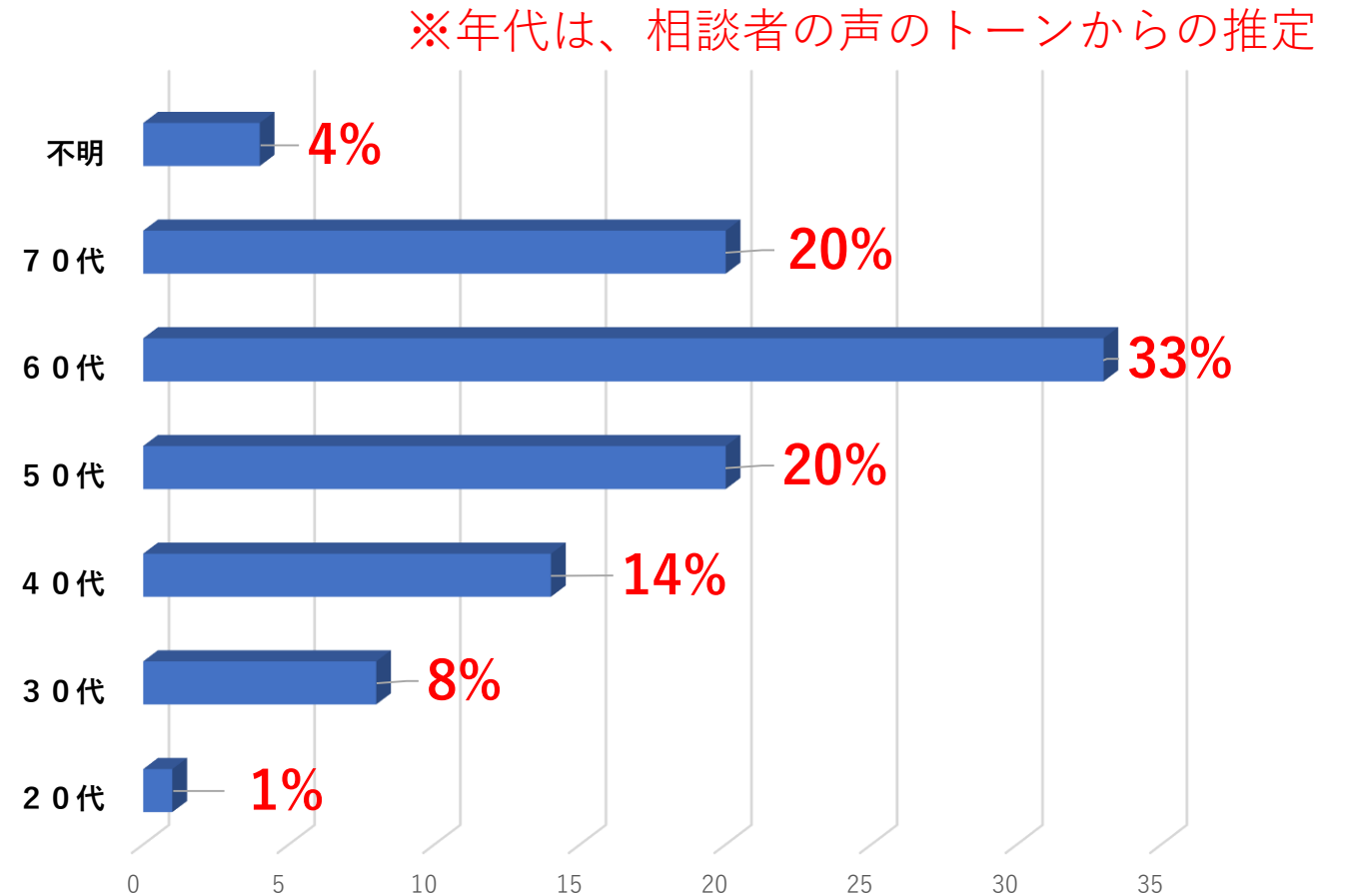
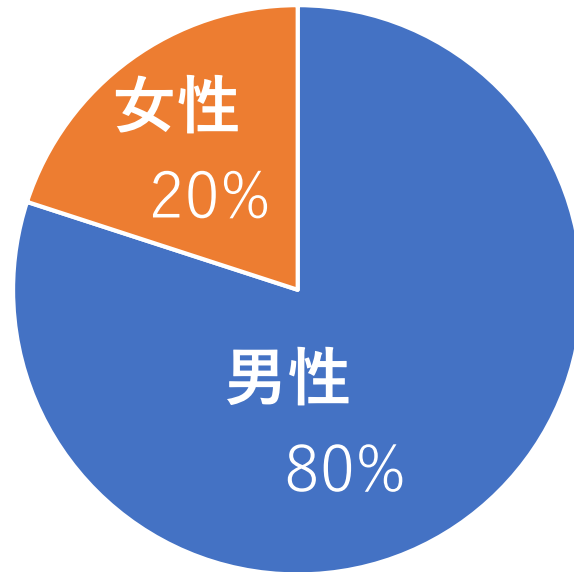
■今年度としては9月の相談件数が479件と最も多かった。
10月は305件。

<主な相談内容>

- 内蔵テレビ、チューナー、録画機の問い合わせが多く、テレビの買い替えの際の具体的相談が増加
- 受信設備関連では、受信設備の改修等へのお問合せが最も多いが、既存のパラボラアンテナで受信が可能か？ケーブルテレビでも受信が可能か？も多い。
- 4K8K放送の番組内容は？など受信意欲が見受けられる相談が多い傾向。

新4K8K衛星放送コールセンター相談状況

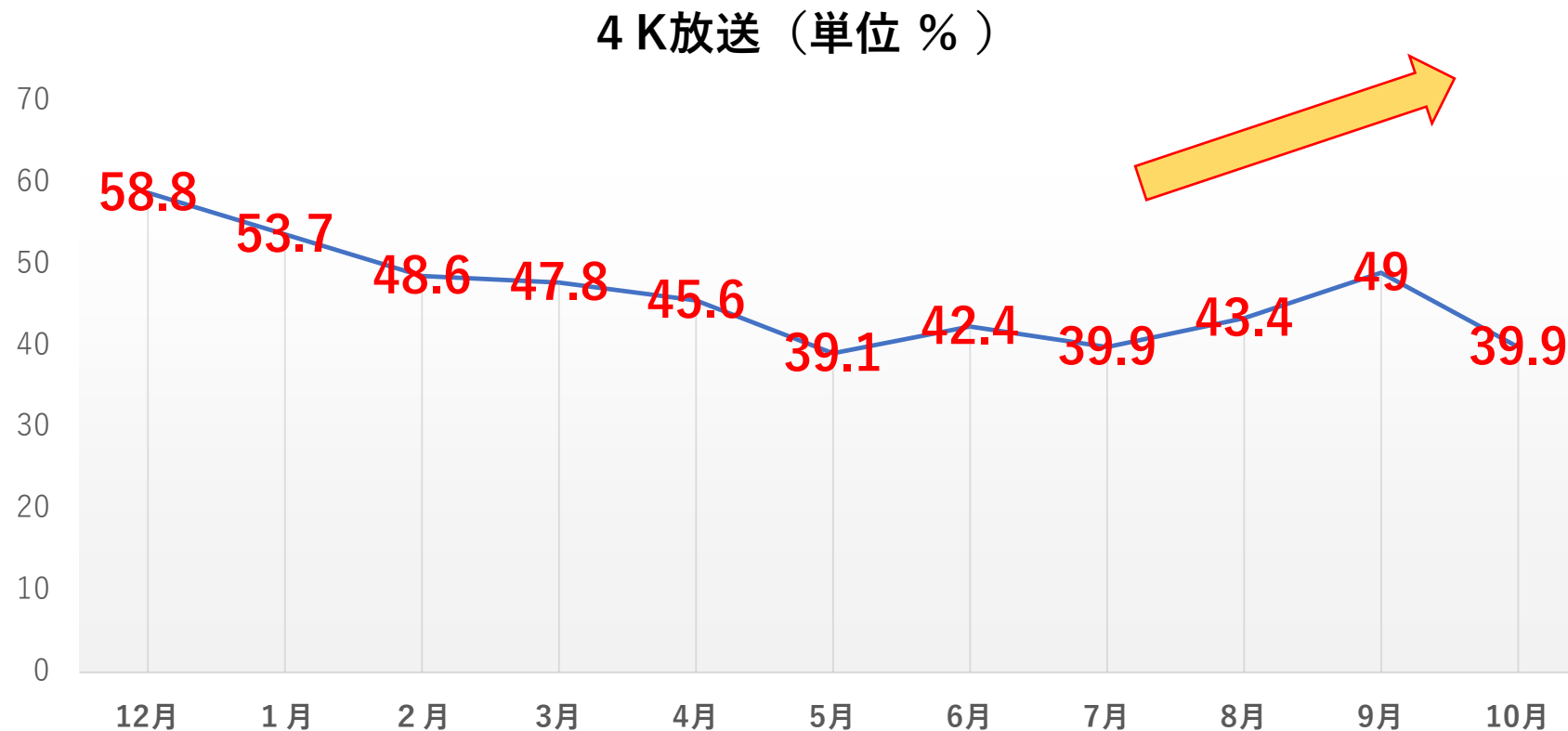
②相談の男女、年代別傾向



※2018年12月～2019年10月の集計結果

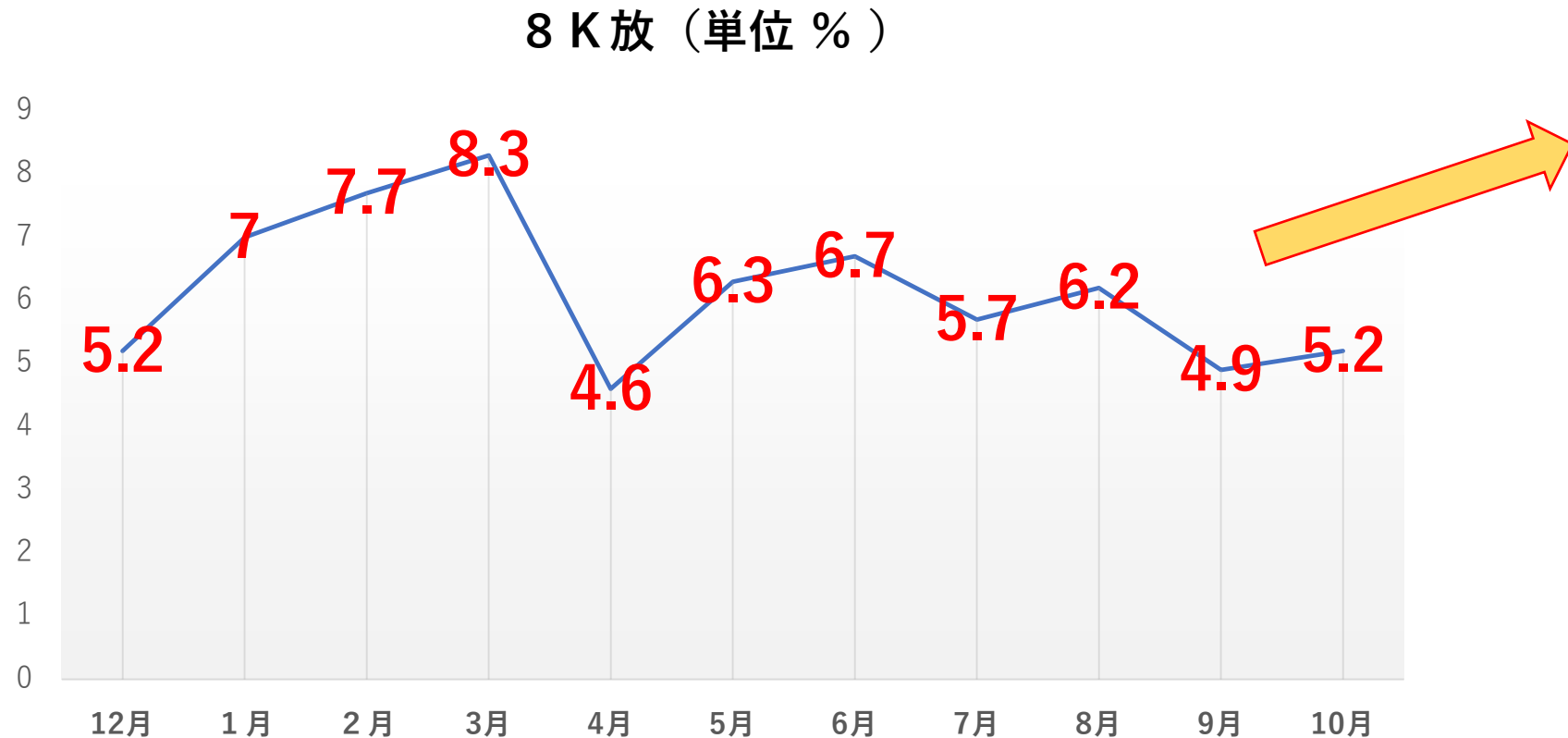
新 4 K 8 K 衛星放送コールセンター相談状況

③受信意欲（4 K放送）



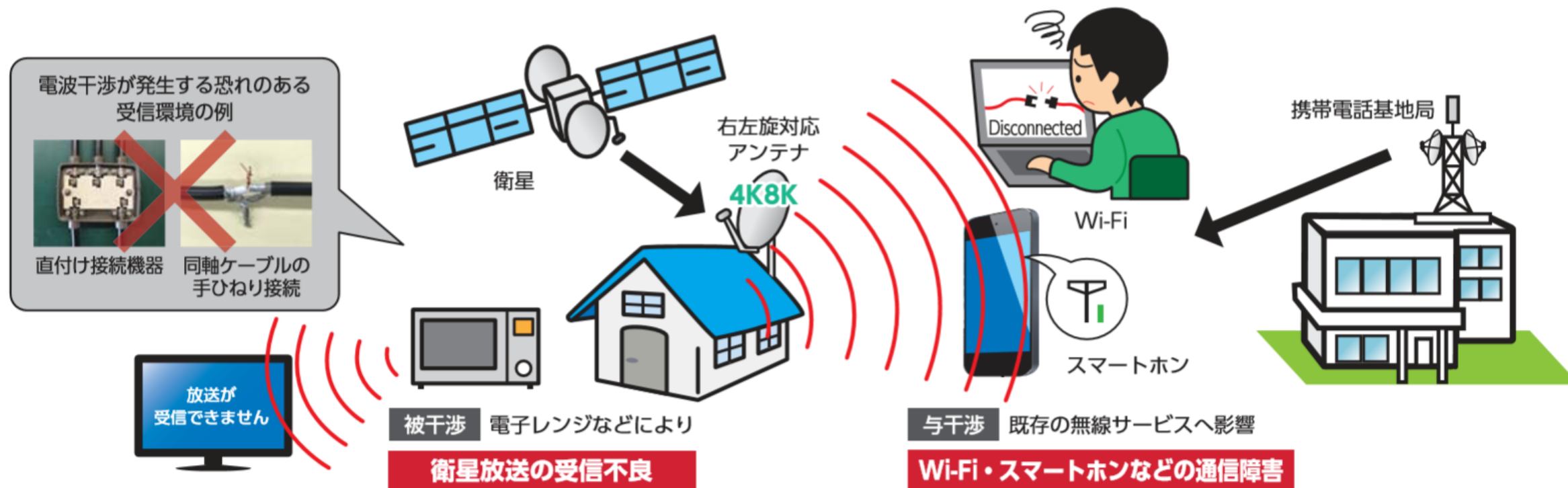
新4K8K衛星放送コールセンター相談状況

④受信意欲（8K放送）



電波漏洩による電波干渉と法改正

右左旋対応アンテナを設置して左旋の中間周波数帯電波が漏洩すると、
既存の無線サービスへ妨害を与えたり、衛星放送の**受信不良**が発生する可能性があります。



左旋を受信する設備の漏洩基準を定めるため法令が改正され、2018年4月1日から、
右左旋対応アンテナを設置した際、基準に適合しない受信設備は違法となります。

中間周波数漏洩対策事業費補助事業 ぜひ、この「助成金制度」のご活用を！

- 新4K8K衛星放送を視聴するための一部受信設備の改修に係る助成申請を受付中です。
(改修費用の1／2が補助されます)
- 来年2月10日までに「実績報告書」（正しい工事実績の報告）の提出分までが助成対象。
- 集合住宅などの改修工事には時間がかかるため、お早めに申請をお願いします。
- 新4K8K衛星放送の受信環境の整備に、ぜひ、このスキームを活用してしてください。
- 詳しくは、A-PABホームページにアクセス！

